



春の訪れを、あちらこちらで感じられるようになってきました。みんなで名前を決めたヒヤシンスもやっと花開き「きれいだね」「かわいいね」と子どもたちも嬉しそうです。きりん組に進級するドキドキと喜びを感じながらも、新しい環境に不安を感じる姿も見られているので進級に期待を持って過ごせるよう見守っていきたいと思います。



ヒヤシンスの生長を毎日楽しみにしている子どもたち。保育室内のロッカーの上に置いているのですが、私がカーテンを開けるのを忘れて「先生、お花に光が当たらないよ」「カーテン開けて!」とアドバイスがある程、ヒヤシンスのことを気にかけています。

よく食べ、よく遊び、よく眠るうさぎ組の子どもたちですが、最近では給食の時間が濃いものになってきました。箸を使って食べ始める子が増えてきたことや、給食の終わり時間を気かけながら食べることも多くなりました。今まではお皿に野菜が少しでも入っていると「嫌い」「いらぬ」の一点張りでしたが、「嫌い」は作ってくれた人が悲しむかも。。。「苦手とか、あまり好きじゃないと言った方が悲しくないかもしれないね」と話をすると「うん。。。となんと微妙な反応が(笑)それからというもの、「これ苦手なんだよねえ」「ちょっとだけ食べてみる」と今までとは違う姿が見られるようになりました。

素直でどんなことも吸収してくれるうさぎ組の子どもたちなので、周りのお友達との関りの中で、相手に言われて嬉しいことや、相手が傷つかない言い方などを今から少しずつ知ってほしいと願っています。

### ----- 1 年を振り返って -----

2年前、あひる組の時に一緒に過ごした子どもたちの姿が今でも目に浮かびます。進級して間もない頃は、自分でお尻が拭けず「くろだせんせー!」とトイレから呼ばれたり、着替えでは服を後ろ前反対に着ていたり自分でやりたい気持ちと、うまくできずに葛藤する気持ちが見られていました。今では「うんちいってきます」と一人でお尻を拭いて、笑顔で保育室に戻ってくる姿や唇を尖らせながら真剣にお箸を使って食事している姿を見ると1年間の大きな成長を感じます。子どもたちの成長はできるようになったことだけではなく、気持ちの面でも感じられました。「できるようになりたい」「かっこいい姿を見せたい」と、挑戦しようとする姿を近くで感じることができました。「うさぎぐみさんだからできる!」と自信を持って運動会やお楽しみ会に参加したり、みんなで一つのことを成し遂げたりすることも経験しました。できるようになったことだけではなく、友達との関係が上手いかなかった時や、遊びの中での勝ち負けなどで感じた「悔しさ」や「失敗」などの気持ちも経験した1年だと思えます。心も体も大きく成長した1年間を、一番近くで見守ることができました。

1年間、日々の保育にご理解、ご協力いただきありがとうございました。



☆おしらせ☆

○3月25日(月)から、進級後のクラスで過ごす予定です。詳しくは後日お知らせします。